

2017年6月1日

日本ユニシス 3～5年先のお客さまにおける ICT 活用の未来像 「Technology Foresight® 2017」を発表

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）は、3～5年先のお客さまにおける ICT 活用の未来像をまとめた「Technology Foresight 2017」を発表しました。

日本ユニシスは、市場動向やお客さま動向、技術動向から ICT 活用の未来像を策定することで、お客さまに提供していくべき技術（ICT）の方向性を考えています。「Technology Foresight」は、2009年の発表以降、毎年改訂を行っており、お客さまの ICT 投資や次期システムのグランドデザイン検討、ICTの将来性の知識習得などに活用されています。

「Technology Foresight 2017」の概要は、以下のとおりです。

- **人の自然な動作に近づくユーザーインターフェース**
認識技術の飛躍的向上により、ユーザーインターフェースは人の自然な動きに近づいている。常識や感情の認識が進み、人はコンピューターの存在をあまり意識しなくなる。
- **成熟期に入るクラウド**
セキュリティ面の信頼性が高まり、可用性を確保できるしくみが整い、クラウドは成熟期に入っている。巨大ショッピングモールのようにサービスが充実し、クラウドへのシフトがますます進む。
- **セキュリティリスクの拡大**
高度化/巧妙化した攻撃により、セキュリティリスクは今以上に拡大している。経営層によるビジネス主導のセキュリティ対策を進める企業と、簡易な防御に留まっている企業の二極化が進んでいる。
- **AIへの期待は確信に**
世界中でAIの取り組みが数多く行われることで、できることできないことが理解され、AIに対する期待は確信になっている。多くの企業でAIを活用しようとしているが差が出ている。
- **IT駆動型ビジネス拡大の影響**
IT駆動型ビジネスが拡大し、多くの企業で主力事業へと変化を遂げている。企業は、IT駆動型ビジネスへの対応を行うため、組織のあり方や人材の採用と育成について模索している。

今後も日本ユニシスは、Technology Foresight を通じて、お客さまに提供していくべき技術（ICT）の方向性を見定め、技術力を強化していきます。

以上

■ 展示のご案内

日本ユニシスグループ総合フォーラム「Nihon Unisys Group Business & ICT Strategy Forum 2017 (BITS® 2017)」で、Technology Foresight 2017 を紹介します。

- ・日程：2017年6月8日(木)、6月9日(金)
- ・会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京
- ・お申し込み / 最新情報：<http://bits.unisys.co.jp/2017/>
- ・展示：ICT 活用の未来像 Technology Foresight® < 展示 No.2 >

Technology Foresight、BITS は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

関連 URL：

「Technology Foresight」http://www.unisys.co.jp/com/tech/technology_foreight/

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。